

【様式1】

団体名 豊見城市立長嶺中学校	連絡先 TEL: 098-850-1900 Eメール: jh-nagamine@city.tomigusuku.okinawa.jp
--------------------------	---

タイトル: 「チーム長嶺で確かな学力の向上を目指して」

1 実践内容

(1) 学習規律の確立を目指し全校体制の取組を通じた学びの保障

- ① 2分前入室、1分前黙想、チャイム始業に全校体制で取り組む。
- ② 学習用具準備の徹底とロッカーの整理整頓（毎週金曜日、帰りの会の前に生徒会生活委員が点検）に取り組ませる。（写真1）

(2) 授業と連動した宿題を通じた学びの保障

- ① 5教科を曜日で割り当て、授業と連動した宿題に取り組ませる。（写真2）
- ② 各学級の学習係が提出状況を確認し、各学年掲示板に結果を記入させる。
- ③ 各教科担任による点検・評価後、授業等でフィードバックを行う。
- ④ 家庭学習の習慣化を目指し、各学年主任を中心に補習指導や提出を促す工夫を実施する。

(3) 個に応じた学習支援を通じた学びの保障

- ① 各種検定にチャレンジする生徒を対象に早朝学習会等を各教科で実施し、検定取得を目指した指導を行う。
- ② 学習支援員による個に応じた学習支援を継続的に実施することで、学習が理解できる喜びや自己肯定感の高まりを実感する生徒がいる。
- ③ 学年主任・担任・教科担任が連携し、年間を通じた補習指導を適宜実施することで、個に応じた学習支援につながっている。
- ④ 3年生を対象とした放課後の受検対策講座（市の取組）に多くの生徒が参加し、志望校合格を目指して学習に励む様子が見られる。（写真3）

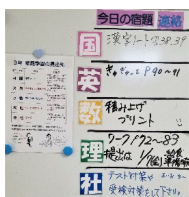
(4) 授業研究会の実施（一人一公開授業三参観）

- ① 校内研修のテーマ「対話を取り入れ、問いが生まれる授業づくり」に焦点化して指導案を作成し、公開授業を行った。また、参観者は参観シートを用い視点を絞って参観した。（写真4）
- ② 各教科で授業研究会を実施し、校長・教頭、参観者からのフィードバックをもとに、授業者はリフレクションを行い、授業改善を図った。

2 説明資料



(写真1) 毎週金曜日のロッカー整理



(写真2) 家庭学習掲示板



(写真3) 冬休み期間中の校内無料



(写真4) 公開授業の参観

3 成果

- (1) 学習規律の確立を目指した取組により、生徒が落ち着いて授業に臨む雰囲気が整っている。
- (2) 生徒のニーズに合わせた補習・個別指導を行うことで、学ぶ意欲や学力向上に効果が見られた。
- (3) 対話的な学びを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることの実感を持った生徒が多く、深い学びの充実を図ることができた。

4 課題

- (1) 手立てが必要な生徒に対する組織的かつ計画的な支援が必要である。
- (2) 家庭学習の習慣化や学習内容の定着、意欲に繋がる効果的な家庭学習の取組が必要である。